学校番号	302

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『高等学校 現代文Ｂ［改訂版］ 』（三省堂）						
副教材等	『新装版 ニューグレード 現代文 読解Ⅲ』（桐原書店） 『オリジナル センター試験対策 知識問題完全攻略 改訂版』（桐原書店） 『日本文学史 要点 チェックノート』（文英堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語科では、社会に出てからも通用する「伝え合う力」の育成を目指しています。国語科で学ぶことは、全ての教科の基礎学力につながるだけでなく、自分らしく生きていく源となる力を育みます。実り多い学習となるよう、「授業」を大切にし、「予習」・「復習」はバランス良く主体的に取り組みましょう。「予習」では、辞書を活用して新出語句の意味調べや本文の音読、「復習」では学んだことを整理し、重要事項についてさらに調べて、どんどんノートに付け加えましょう。授業で身につけたことは、繰り返し声に出したり、紙に書いたり、級友に教えたりと復習の方法を工夫してください。ノートはできるだけ行間にゆとりを持ち、授業中は級友の意見や授業者の口頭による説明も必要に応じてメモをとり、積極的に参加してください。また、小テストや定期考査は計画を立てて臨み、提出物の期限は厳守しましょう。さらに、新聞や良書を読んで、視野を広げて語彙や発想を豊かにしていきましょう。

2　学習の到達目標

① 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
② 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。
③ 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
④ 国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	・積極的に自分の心情を国語で伝え合おうとし、また、筆者の主張を読み解くために積極的に教材に向き合おうとしている。	・目的や場に応じてしっかりと自分の意見を伝え、的確に聞き取って自分の考えをまとめたり深めたりしている。 ・聞くときに、話し手の意図、考えの進め方、強調された点などをとらえ、話し手と建設的な会話を展開している。	・文章を書くねらいを達成するため、主張を明確にし、論点を整理して配列を考え、適切な語句を選ぶなど、表現に様々な工夫を凝らしたり、推敲を重ねたりしている。 ・優れた文章を分析、吟味するとき、発想の豊かさ、構成の着実さ、読み手を意識した適切な用語や引例などについて着目している。	・文章の組み立てを確かめたり、段落相互の関係を読み取ったり、さらには文体や表現技法等の特徴に注意しながら、書き手の主張や文章の内容をとらえている。	・文や文章の組み立て、語句の意味、常用漢字の読みや用法及び表記の仕方などを教科書を中心に理解し、語彙を豊かに身につけている。

評価方法	・記述の確認（ノート・ワークシート等） ・行動の観察（授業態度・発表や協議の様子等）	・行動の観察 ・記述の確認	・記述の確認及び分析 （コンクール等の活用）	・記述の確認及び分析 ・定期考査	・記述の確認 ・行動の観察 ・定期考査 ・朝学や小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動案

前・後期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			関	話	書	読	知		
前期	評論読解・基礎固め	(予定題材) **最相葉月** **「文系と理系に壁はあるか」** ※単元目標に関わる文章を、生徒の実態等に応じ、必要がある場合には検討して扱うことがある。	○		○	◎	○	関　文章の主題について、自身のことにひきつけて考えを深めようとしている。 書　深まった自分の考えを文章にまとめることができる。 読　文章の内容から、筆者の考えを理解している。 知　主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	発問・授業時の反応・ノートやワークシートへの記述・指名読み・小テスト・定期考査
	小説読解・基礎固め	(予定題材) **安部公房** **「鞄」** ※単元目標に関わる文章を、生徒の実態等に応じ、必要がある場合には検討して扱うことがある。	○	○		◎	○	関　文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 話　文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合っている。 読　文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。 知　語句の意味や用法を理解している。	発問・授業時の反応・ノートやワークシートへの記述・指名読み・小テスト・定期考査

	評論読解	(予定題材) **黒崎政男** **「身体〈の〉疎外」** ※単元目標に関わる文章を、生徒の実態等に応じ、必要がある場合には検討して扱うことがある。	○			◎	○	関 語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、過不足なく読み取ろうとしている。 読 語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく読み取っている。 知 読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・指名読み・小テスト・定期考査
	小説読解	(予定題材) **多和田葉子** **「捨てない女」** ※単元目標に関わる文章を、生徒の実態等に応じ、必要がある場合には検討して扱うことがある。	○			◎	○	関 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 読 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。 知 語句の意味や用法を理解している。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査
	評論読解	(予定題材) **鷲田清一** **「ぬくみ」** ※単元目標に関わる文章を、生徒の実態等に応じ、必要がある場合には検討して扱うことがある。	○		○	◎	○	関 「自由」な社会における「つながり」の必要性について、引用事例を通じて考えようとしている。 書 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書いている。 読 引用事例に注目し，筆者の考えを理解している。 知 主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	発問・授業時の反応・ノートやワークシートへの記述・定期考査

後期	小説読解	(予定題材) **梶井基次郎** **「檸檬」** ※単元目標に関わる文章を、生徒の実態等に応じ、必要がある場合には検討して扱うことがある。	○	○		◎	○	関 回想という形式をふまえ、「私」の思いの変化を読み味わおうとしている。 話 文学的な文章を読んで、人物の心情やその表現の仕方などについて話し合っている。 読 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。 知 言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	発問・授業時の反応・ノートやワークシートへの記述・定期考査
	評論読解	(予定題材) **岡真理** **「虚ろなまなざし」** ※単元目標に関わる文章を、生徒の実態等に応じ、必要がある場合には検討して扱うことがある。	○			◎	○	関 筆者の考えをもとに自分の考えを深め、発展させようとしている。 読 筆者の問題意識を把握しながら文章を読んでいる。 知 複合語や連語などについての理解を深めている。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査
	評論読解・発展	(予定題材) **谷崎潤一郎** **「陰翳礼讃」** ※単元目標に関わる文章を、生徒の実態等に応じ、必要がある場合には検討して扱うことがある。	○			◎	○	関 視野を広げ思考を進めながら文章を読もうとしている。 読 用語や文体や修辞などに注目しながら文章を読んでいる。 知 語句の意味、用法を理解している。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査

	小説読解・発展	(予定題材) **森鴎外** **「舞姫」** ※単元目標に関わる文章を、生徒の実態等に応じ、必要がある場合には検討して扱うことがある。	○	○		◎	○	関 表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。 話 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合っている。 読 情景や描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。 知 作者の思想や作品について、理解を深めている。	発問・授業時の反応・ノートやワークシートへの記述・定期考査
	課題別・演習	(問題演習) **副教材･プリントを活用した多読・速読演習**	○			◎	○	関 自分の進路を見据え、国語を運用する能力を高めつつ、長所を伸ばし、不十分なところは改善していこうと努力している。 読 文章を正確に読み取っている。 知 知識を定着させたり、設問要求を理解したりしている。	発問・授業時の反応・テキストやプリントへの記述・小テスト・定期考査

※ 表中の観点について 関…関心・意欲・態度 話…話す・聞く能力 書…書く能力

読…読む能力 知…知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を付している。

※ その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。